

研究課題番号	S-20
研究課題名	短寿命気候強制因子による気候変動・環境影響に対応する緩和策推進のための研究
研究実施期間	2021 年度～2025 年度
研究機関名	九州大学
研究代表者名	竹村 俊彦

1. 委員の指摘及び提言概要

全体として計画通りに進捗していると判断される。新たな科学的知見の発表や国際共同研究などの活動も活発であり高く評価され、IPCC インベントリー専門会合や UNEP 等の気候変動影響に関連する科学委員会にインプットされることが見込まれる。望むとすれば、CO₂ など GHGs と SLCFs のそれぞれの気候変動影響への寄与の相違を対立軸的に分かりやすく提示すれば、テーマ 2 及びテーマ 3 における SLCFs 削減の重要性をもっと明確に示すことができたようにも思われた。今後、3 テーマ間の連携をより密に進め、プロジェクト終了時には、科学的な裏付けをもった政策提言に繋がるような成果を挙げられることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S